



RSウイルス感染症 乳幼児・高齢者は要注意!

令和5年6月21日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

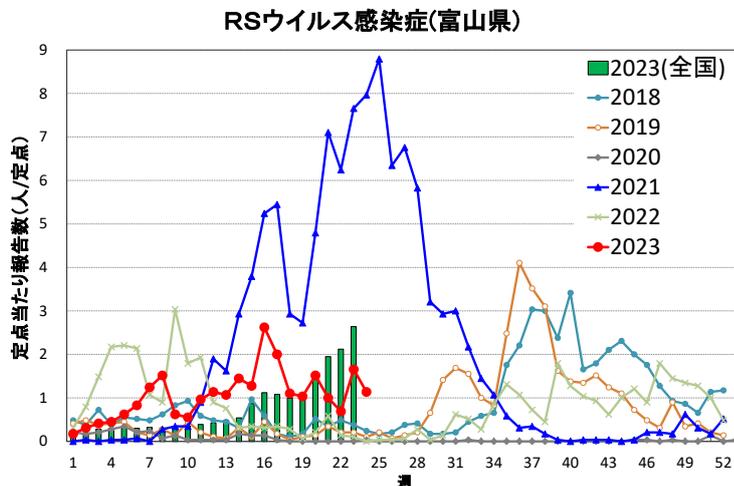
感染症発生動向速報

(令和5年第24週分・6月12日～6月18日)

《インフォメーション》

●RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルスを原因とする急性呼吸器感染症です。2016年頃から2019年においては、全国、富山県、いずれも8月下旬頃から増加し秋にピークを迎える傾向がありました。新型コロナウイルスの流行が発生した2020年には全く流行が認められませんでした(図：折れ線、灰色)、2021年には春から夏にかけて、例年とは異なる時期に大きな流行がありました(図：折れ線、青)。今年の全国の患者報告数は、第20週以降増加傾向にあり、第23週時点で2.64人/定点でした(図：棒グラフ)。県内では今週1.14人/定点の報告がありました。第16、17週に小流行が認められた後、概ね横ばいで推移しております。県内患者の9割は3歳以下の乳幼児であり、多くの症例が幼稚園、保育所、家庭内等で発生していることが推定されます。



RSウイルス感染症は、感染から4～6日の潜伏期間の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が認められます。1歳未満、とくに6ヵ月未満の乳児や早産児では重症化しやすく、入院治療が必要となる場合もあります。高齢者や心臓・肺に持病のある人では重症化する場合があります。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。現在、有効なワクチンや治療薬はないため、手洗いや手指消毒、マスク着用などの基本的な感染対策で予防しましょう。なお、低出生体重児や免疫不全、心臓疾患などの基礎疾患がある乳幼児に対しては、抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体であるパリビズマブを投与することで、RSウイルス感染症の重症化予防が期待できます。詳しくは医療機関へご相談ください。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 3件 (①70歳代、男性 ②70歳代、女性 ③80歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (20歳代、男性、O111、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①70歳代、男性、肺炎型 ②80歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (90歳代、女性)
- 梅毒 1件 (第23週診断分：50歳代、男性、無症候)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	6.07 (↓)	6.97
2位	ヘルパンギーナ	5.21 (↑)	4.76
3位	COVID-19	4.90 (↑)	4.21
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.07 (↓)	3.28
5位	手足口病	1.31 (↑)	1.00
6位	RSウイルス感染症	1.14 (↓)	1.66



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第24週 令和5年6月12日～令和5年6月18日）

分類	疾患	今週報告分（第24週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			2	1	3	2	4	16	3	41	66		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1		1			2		1	3		
	四類感染症	オウム病								1			1		
		日本紅斑熱										1	1		
		レジオネラ症	1				1	2	1	1	8	1	5	16	
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4	1	4	9	
		急性脳炎										1	1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									5	1	4	10	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1				1	5	6	
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	3	1	10	16	
		水痘（入院例）								1		1	3	5	
		梅毒										1	1	10	12
		播種性クリプトコックス症								1				1	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ			1	8	8	17	791	1,366	3,290	1,116	4,688	11,251	
		COVID-19（※1）	42	15	100	51	27	235	222	127	336	196	249	1,130	
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	2	7		23	33	32	72	236	136	260	736	
		咽頭結膜熱	4	1	10		12	27	48	32	145	40	122	387	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1	55		30	89	27	6	574	3	386	996	
		感染性胃腸炎	12	14	27	15	108	176	502	624	1,163	766	3,563	6,618	
		水痘			2		1	3	3	11	24	4	45	87	
		手足口病	4	1	23		10	38	8	3	71	4	50	136	
		伝染性紅斑									1		4	5	
		突発性発しん		1	3	2		6	11	20	62	20	40	153	
		ヘルパンギーナ	5	10	71	11	54	151	31	20	329	36	144	560	
		流行性耳下腺炎		1		1	2	4		1	8	2	6	17	
		眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							1		17		1	19
		基幹定点（5定点）	マイコプラズマ肺炎									4			4
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							3	3	13	18	32	69		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

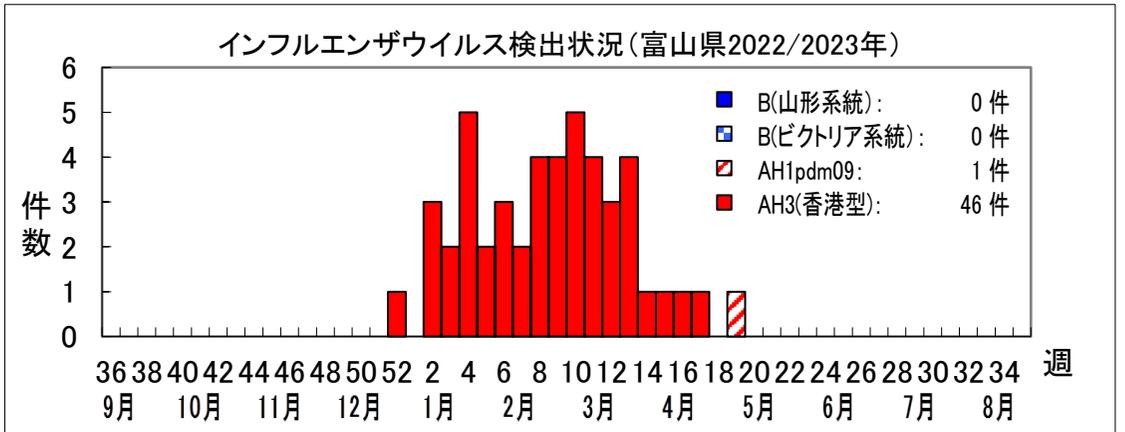
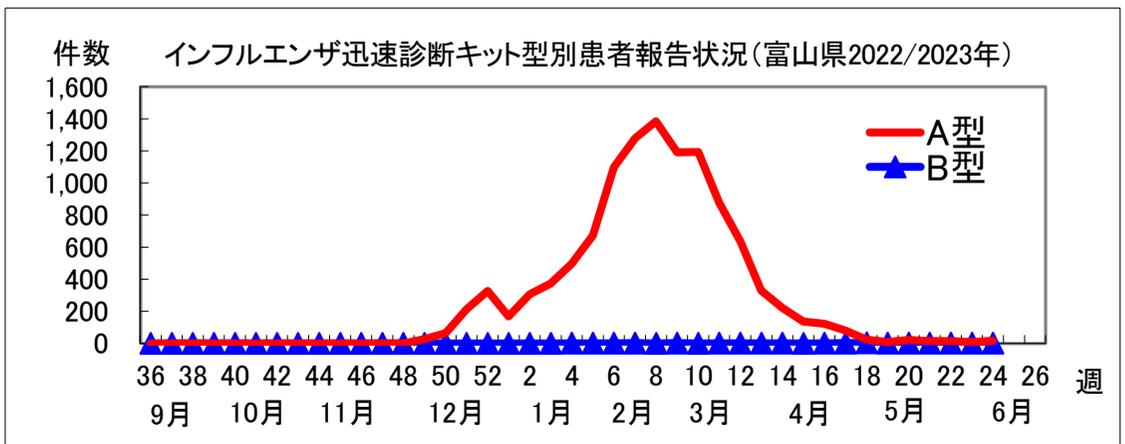
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が94.1%となっています。

第24週(6/12～6/18)：富山県 0.35人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	1 / 13	1	0	0	1
砺波	3 / 7	7	1	0	8
富山市	3 / 16	8	0	0	8
富山県	7 / 48 ^{※1}	16	1	0	17
富山県累計(2022年36週～)		11,309	24	561	11,894

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が7か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



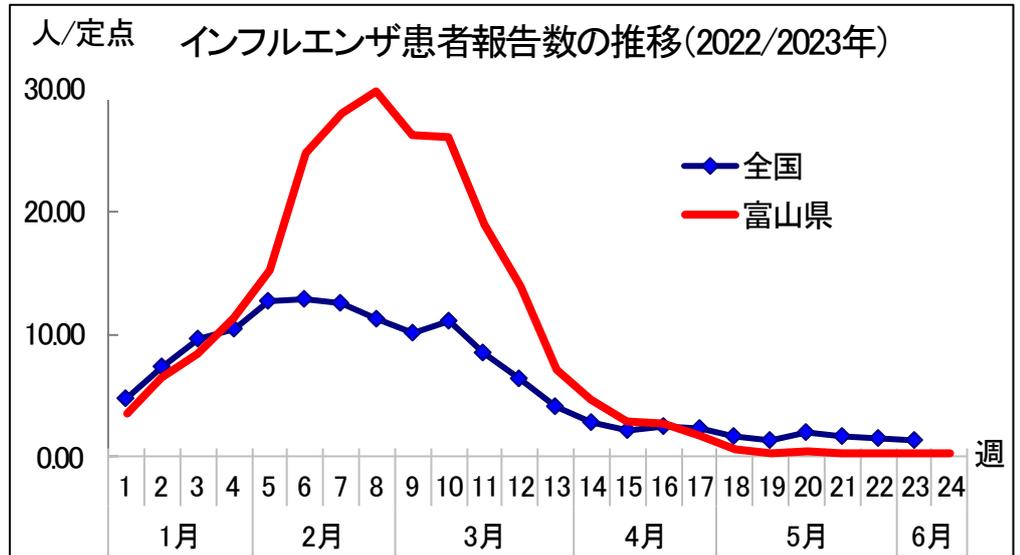


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第24週 (6/12~6/18) : 富山県 0.35 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.08)、砺波 HC (1.14)、富山市 HC (0.50)

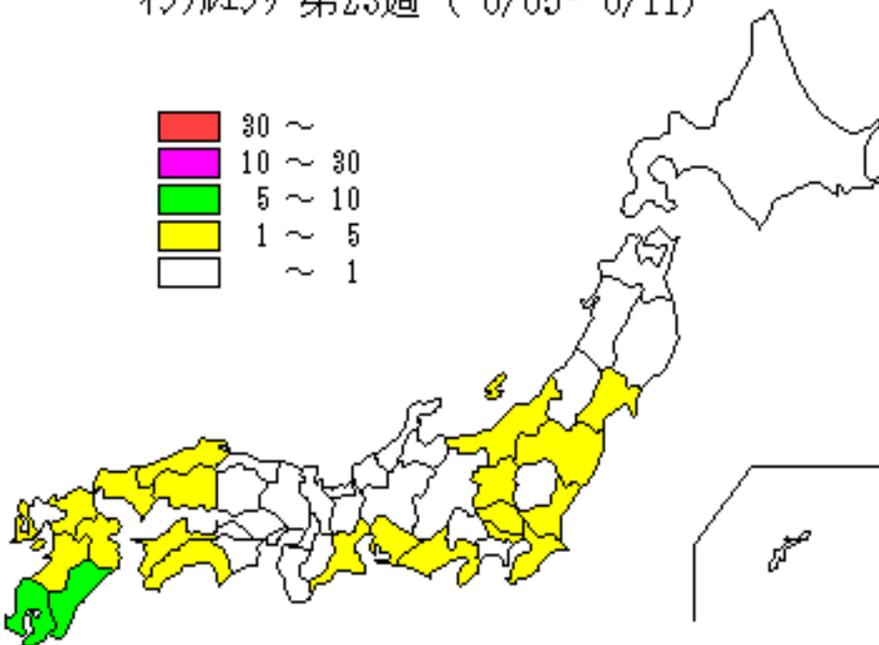
県内の患者報告数は流行の目安である1.0人/定点未満の低値で推移しています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第23週 (6/5~6/11)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.36 人となり、前週の 1.51 人より減少しました。34 道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第23週 (6/05- 6/11)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.99	滋賀県	0.48
青森県	0.40	京都府	0.62
岩手県	0.57	大阪府	0.70
宮城県	1.02	兵庫県	0.96
秋田県	0.29	奈良県	0.18
山形県	0.81	和歌山県	0.41
福島県	1.85	鳥取県	0.31
茨城県	1.15	島根県	1.32
栃木県	0.39	岡山県	0.48
群馬県	1.17	広島県	1.49
埼玉県	1.51	山口県	2.39
千葉県	1.51	徳島県	0.27
東京都	1.69	香川県	0.34
神奈川県	0.98	愛媛県	3.59
新潟県	1.49	高知県	2.23
富山県	0.23	福岡県	1.06
石川県	0.08	佐賀県	0.33
福井県	0.05	長崎県	4.73
山梨県	0.20	熊本県	2.49
長野県	0.35	大分県	2.69
岐阜県	0.62	宮崎県	6.53
静岡県	1.36	鹿児島県	5.10
愛知県	1.76	沖縄県	0.83
三重県	3.07	全国	1.36